

## 中国 無許可キウイフルーツに関する訴訟でゼスプリが勝訴

[FreshPlaza 2025年10月22日](#)

ゼスプリは中国で、ニュージーランドのキウイフルーツ生産者の知的財産権を守るための訴訟に勝利した。武漢市中級人民法院は、2023年に提起された植物品種権(PVR)侵害訴訟において、「ゴールド3」品種のキウイフルーツ(ブランド名: ゼスプリ・サンゴールドキウイ)の無許可での生産・販売・販促活動に関与したとされる2名の被告に対するゼスプリの主張を認めた。

裁判所は、主たる被告が湖北省においてゴールド3品種のキウイフルーツを200ヘクタール以上栽培し、その果実をオンラインで販売してゼスプリの権利を侵害したと認定した。判決は、権利侵害に該当する260ヘクタールの植物の除去と、損害賠償及び訴訟費用としてゼスプリへの524万6,200人民元(約128万NZドル)の支払いを命じた。(1人民元=約21円)

第2の被告はゴールド3品種の果実をオンラインで販売していたが、その果実は第1の被告から供給されたものであるため、裁判所は主たる判決によってゼスプリの権利が十分に保護されると判断した。

ゼスプリのCEOであるジェイソン・テ・ブレイク氏によると、本件は2022年に導入された中国の改正種子法で植物品種の保護がどのように強化されたかを示している。同氏は、知的財産の保護は国内外の園芸企業にとって不可欠であり、食品安全基準への適合にも寄与すると述べた。

同氏は、「中国はゼスプリにとって重要な市場であり、今回の判決は、世界中の消費者に価値の高い品種を提供するための継続的な投資を支えるものである」と語った。

ゼスプリは、中国におけるゴールド3の無許可栽培に関連する現状の課題に対応するため、業界パートナーとの協力を継続するとともに、生産者の権益を守り、国際的な植物品種保護基準の遵守を維持する取り組みを強化していくとしている。

## 南アフリカ グレープフルーツ輸出量が予測を達成

[FreshPlaza 2025年10月22日](#)

南アフリカの2025年柑橘類シーズンのグレープフルーツ輸出量が1,530万箱(15kg/箱)となり、輸出業者らは事前の予測数量を達成した。

南部アフリカ柑橘類生産者協会(CGA)のボイツォコ・ンチャベレCEOによると、この数字は2025年4月に同協会のグレープフルーツ品目別専門部会が発表した予測と一致している。(以下「」は同氏の話)

「これは昨年の輸出実績より約100万箱多いが、過去3年間の平均と一致するものである。結果的に、業界全体で1,530万箱のグレープフルーツを輸出し、当初の予測は的中したことになる。」

同CEOはまた、南アフリカ産果実の市場への入荷が北半球産の供給終了と重なったと指摘した。欧州市場へのクラス I 及び II の果実の出荷はやや増加し、輸出先シェアは2024年の43%から2025年には47%(約9万5,700トン)に増加した。一方、中国向け輸出は全体の10%から6%(約1万2,750トン)に減少した。

「その他の顕著な変化としては、ロシア市場への輸出が2024年の11%から2025年には14%に増加した点が挙げられる。他の市場への出荷割合は前年とほぼ同様であった。米国向け輸出量は2024年の1万200トンから1万3,600トン(全体の7%)に増加した。」

同氏はさらに、中国は加工用果実の82%を受け入れたと付け加えた。

「グレープフルーツは4月から7月中旬まで安定的な数量が出荷され、第19週(5月上旬)にピークを迎えた。市場は予測可能な供給にうまく対応したようで、価格はシーズンを通じて安定的に推移した。」

出典: Freight News